

雲の上のまち



広報

けさは



2025
〈令和7年〉

新年号

No. 799

あけましておめでとうございます

おだやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧年中は、町政の執行に当たり大変お世話になり、
ありがとうございました。

令和七年 元旦

梶原町長 吉田 尚人



昨年は1月1日元旦に能登半島地震が発生し、甚大な被害が発生する中で多くの方が犠牲となりました。また、復旧途上の9月には豪雨災害に見舞われました。犠牲となられた皆様のご冥福をお祈りし、被災された皆様にかかるのお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

4月には豊後水道で発生した地震により宿毛市などで多くの被害が発生し、本町でも落石により集落が孤立し、8月には日向灘で地震により「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されました。南海トラフ地震の発生が現実味を帯びる中で、町民の皆さんお一人おひとりが「まずは自分と家族の命を守る」ために必要なことの確認をお願いします。

昨年は、観測史上最高の暑さであったと報じられています。梶原でも11月中旬まで日中は汗ばむ陽気が続いていましたが、爽やかな秋を味わうことなく急激な冷

え込みをむかえました。こうした気象の変化も地球温暖化の影響であり、今私達にできる温暖化対策を着実に進めなければ、子や孫の世代が安全に安心して暮らすことのできる環境を引き継ぐことができません。

地球温暖化対策として二酸化炭素の排出を抑えることが求められており、梶原町は、「脱炭素は土佐の山間よりゆすはら脱炭素の道」の取組により脱炭素先行地域として選定されました。

この事業は、森林の利用整備を通じてまちの資源を活かしながら町民の暮らしを支えることにつながるものであり、人類が直面している地球温暖化対策の取組にも貢献できる仕組みです。

平成11年の四国カルストでの風車建設以来、環境の町「ゆすはら」として取り組んできた「低炭素なまちづくり」が新たなステージに進もうとしています。この取組がうまく回り各地に広がることで、国をあげての地球温暖化対策

が前進できると信じております。
昨年は、この事業に関して皆様には様々なご心配をおかけしましたが、ご理解とご協力をいただき、第一歩を踏み出すことができました。

この間、様々な立場からご支援いただいた皆様に心から感謝申し上げますとともに、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

産業振興の柱としての観光産業、その拠点としての太郎川公園再生（ホテル・レストラン、道の駅整備）については、産業の中核として外貨を稼ぎ、経済を回すため同じく早期に取り組むべき事業ですが、財政面やスケジュールなど様々な条件に配慮しながら議会や住民と協議し、取り組んでいきたいと考えています。

教育の振興では、昨年梶原高校の新入生が50名を数え、寄宿舎が不足する状況となったことから、増築に向けて取り組んでいるところ です。

近年、梶原中学校から梶原高校、大学と進学し、国内で最難関とされる司法試験に合格者も生まれましました。また、町外からおこしいただいた生徒さんが希望の進路に合格され「梶原高校に来てよかった」

との声も複数の生徒さんや保護者から聞かせていただきました。
様々な進路を目指し、充実した学校生活を送ることで、梶原を故郷として愛してくれる子どもたちが育つよう今後とも町としてできる限り支援に取り組んでまいります。

昨年は、待望の梶原歯科診療所の新築工事が無事終わり、元場所での診療を再開できました。仮診療所の間は、ご不便をおかけしましたが、引き続き医科歯科連携により町民の健康を守っていただくことを期待しております。

今年も、「子々孫々に幸せな暮らしをつなぐ理想郷 梶原へ」を目指して取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします。

梶原町役場

梶原町長

吉田 尚人

副町長

西村 新一

監査委員

外職員一同
中越 拓平
市川 岩亀

年頭のご挨拶

年頭に当たり、梶原町議会を代表して、
謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

令和七年 元旦

梶原町議会議長 土釜 清



皆様方におかれましては、日頃から議会活動に対するご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年の元日に発生した能登半島地震では、家屋、道路、ライフラインなどの、また9月の豪雨災害では、線状降水帯に伴う大雨により河川の氾濫、土砂崩れなどの甚大な被害が発生しました。地震からの復旧途上に水害が追い打ちをかけるという非常に過酷な事態であり、被災地の皆様には心身ともに大変厳しい状況であると拝察いたします。犠牲となられました方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、ご遺族と被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます、一日も早く日常が戻りますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、地方分権改革の進展により、自治体の自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなってきております。しかし一方で、人口減少や高齢化の進行等により議員のなり手不足が深刻化しております。こうした状況の中、議会が住民の代表として適切な役割を果たすためには、議会の機能強化を図るとともに、多様な人材が議会に参画することが求められています。我々議会としましては、自主的な取組を積極的に展開し、魅力を高め、住民の皆さんの理解と信頼の向上に一層取り組んでいかなければならないと感じております。そんな思いの中、昨年夏には各区において議会懇談会を開催しま

した。多くの皆さんに参加いただき、日々の課題等様々な意見交換を行いました。どの区においても課題の根幹は人口減少や少子高齢化に伴う担い手不足でありました。議会の果たすべき役割と責任を自覚し、執行部とともに進めてまいりたいと思います。

結びにあたり、私ども議会といえども、より豊かな住みよいふるさとづくりを目指し、今後さらなる創意工夫を重ね、町民皆様方のご期待に応えられますよう決意を新たにしております。どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。町民の皆様にとりまして、本年が素晴らしい年になりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

梶原町議会

議長 土釜 清
副議長 下元 秀俊

議会運営委員会

委員長 西川 慶男
副委員長 森田 呂弥
委員 藤原 伸
委員 来米 豊史
委員 西川 豊正
委員 市川 岩亀

総務教育厚生常任委員会

委員長 森田 呂弥
副委員長 来米 豊史
委員 藤原 伸
委員 下元 秀俊
委員 西川 慶男

産業建設常任委員会

委員長 西川 豊正
副委員長 市川 岩亀
委員 藤原 伸
委員 来米 豊史
委員 土釜 清

議会広報編集委員会

委員長 来米 豊史
副委員長 西川 豊正
委員 藤原 伸
委員 森田 呂弥
委員 下元 秀俊
委員 市川 岩亀
委員 西川 慶男

明けましておめでとうございます

皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

令和七年 元旦

梶原町教育委員会 教育長 矢野 準也



コロナ禍を経て、日本を訪れる海外からの観光客も再び多くなり、雲の上の図書館の来館者は昨年8月に過去最高を記録しました。また行事等も従来行われていた形に戻るなど様々な場面においてコロナ禍前の姿に回復してきました。

梶原こども園では、豊かな自然環境の中で、のびのびと体を動かし、豊かな感性と表現力を伸ばす教育を実践しています。近隣の梶原高校生との田植えやお茶摘み体験、梶原学園との連携事業の実施、地域の方々の協力を得て、本町ならではの地域ぐるみの幼児教育が展開されています。また、地域子育て支援センターとの連携により、入園前・入園後も保護者の皆さまが安心して子育てできる環境づくりに取り組んでいます。

梶原学園では、平成29年度からICT機器の整備を進め、児童生徒同士が情報通信や協働した学習を行う等、タブレット端末を活用した様々な形での学習や、世界の人々とながらる環境となり、オンラインで西宮市立中学校との交流を通して自らの視野を広げ、梶原の価値を再発見する機会としました。中学生の海外研修は、カナダ・オー

ストラリアに4名の生徒が参加しました。ホームステイ等で戸惑うこともあったようですが、ホストファミリーに温かく迎えられ、研修中は自分の思いを英語で伝える経験や、授業だけでなくスポーツや活動を通じて異文化の交流が図られ、国内外の生徒とも積極的に関わることができ貴重な経験となりました。社会の急速なグローバル化の中で、英語力の一層の充実是不可欠であることから、これまで実施してきましたイングリッシュシユデイキャンプの対象を小学校1年生からに拡充し、外国人講師との交流を通じて英語でのコミュニケーション能力と自己表現力を伸ばし、外国語を学ぶ意欲を高める機会となりました。今後も英語運用能力を育てる取組を推進してまいります。

一貫教育支援センターには、新たに研究員を1名配置し、教育研究所として2つの研究テーマについて調査研究を進めており、他市町の研究所とも情報共有を図りながら教育現場が抱える課題に応える教育活動を展開しています。昨年10月に一貫教育支援センター主催により梶原町子ども未来議会を開催し、梶原学園・梶原高等学校の児童生徒が議員となり町執行部に対して日

頃の生活の中で疑問や課題に感じていることなどを、真剣に考え質問していました。将来の地域の担い手となる子どもたちが、町の在り方や未来像について考え、将来の有権者として町づくりに関心を持つことの意義を改めて感じたところであります。

このような取組を通じて、学校、家庭、地域、行政が一体となり、自信あふれる梶原人の育成を目指します。

生涯学習におきましては、雲の上の図書館が昨年5月で開館6周年を迎え、累計来館者数は70万人を超えました。この間、来館者に満足していただけるよう、サービスの充実に取り組み、様々なイベント等を通じて、日頃あまり本に関心のない町民の方々にも足を運んでいただけるよう、身近な図書館を目指してまいりました。昨年9月には、長らく休止していたボルダリングコーナーを再開し、世代を問わず気軽に楽しめるスポーツとして町内外の皆様に利用いただいております。今年も町民の皆様の「学びの場」「憩いの場」「文化の継承・創造・発信の場」となるようサービスの充実を図ってまいります。

社会体育では、昨年の龍馬脱藩マラソン大会には773名のランナーが参加され、大会後の感想では「学生ボランティアを含め町中でおもてなしを受けていると感じられた」「学生の盛り上げ、サポートに感謝」と、大変ランナーの満足度の高い大会となりました。ボランティアの皆様のおもてな

しの心がランナーに伝わった結果であり、改めてご協力いただきました町民の皆様には感謝申し上げます。

文化活動では、昨年文化財であるゆすはら座の照明をLEDに交換しました。舞台照明も新しくなり、ステージでの表現を引き立てる効果が期待できます。雲の上の神楽大会や町民ステージなどの催しには多くの来場者にお越しいただきました。今後も心身とも健康をめざしたスポーツの推進、芸術・文化振興等や各種社会教育団体への支援を継続して行います。

本町にはこの地域ならではの、特色ある取組がたくさんあります。教育委員会といたしましても、多方面からの力を結集して取組を進め、また各種団体の活動を支援してまいりたいと考えますので、保護者、地域の皆様方のご理解・ご協力を何卒よろしく願います。

本年が、皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

梶原町教育委員会

教育長	矢野 準也
教育長職務代理	樋口 益也
教育委員	岩本 直也
教育委員	吉富 文
教育委員	森山 美幸

謹んで新年のお慶びを申し上げます

輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。
本年もよろしくお願い申し上げます。

令和7年 元旦

高幡消防組合 梶原消防団 団長 森田 耕一



地域の皆様には、平素より我々消防団、女性消防隊、少年消防クラブそして幼少年消防クラブに暖かいご支援、ご協力をいただきまして、衷心より厚くお礼申し上げます。また、団員・隊員の皆様には火災をはじめ各種の災害から地域の安心・安全を守るため昼夜を問わず献身的にご尽力いただき感謝申し上げます。

昨年も各地で、地震・台風・大雨等による自然災害が後を絶たず、各地で甚大な被害をもたらし、土砂崩れや浸水などの多大な人的物的被害が多く発生しました。1月には石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する地震が発生し、4月には豊後水道を震源とする地震が発生しました。

昨年の火災件数は2件あり、7月には重機火災、8月には車両火

災が発生しました。幸い、人的被害も無く、早期に消火することができました。

昨年の消防団及び女性消防隊の活動としては、2月11日には、出初式を雨天のため大越体育館にて開催しました。

4月7日に入団式を行い、7名の新入団員、再入団員3名の計10名と新たに幹部となった隊員及び新入団員に対し辞令交付を行いました。

4月24日に高知県消防大会が、高知県庁正庁ホールで開催されました。団員や団員の配偶者の中から消防庁長官表彰永年勤続功労章1名、高知県知事消防団員配偶者功労感謝状2名が受賞された事は誠に喜ばしいことであります。

6月30日には県消防学校にて高知県消防操法大会が開催され、梶

原消防団第2分団が出場し、見事優勝を収めることが出来ました。

7月7日には大越グラウンドにて連合演習を行い、教練、小型ポンプ操法、自動車ポンプ操法など、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮しました。

10月27日には須崎市桐間防災活動支援施設において高幡消防組合総合演習が5年振りに開催されました。この演習は2年に一度開催されていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期されていきました。演習には梶原消防団から第2分団が出場し、模範操法などを行いました。

消防団の装備充実につきましては、中平と田野々の2カ所に40t防火水槽が設置され迅速な消火活動が可能となりました。

本年も団員及び女性消防隊一同、町民の皆様の生命及び財産を災害から守り、安全で安心して暮らせる町づくりのために努めてまいりますので、なお一層のご支援ご指導をいただきますよう心からお願い

申し上げます。この1年が無火災と無災害でありますと共に町民の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。

高幡消防組合梶原消防団

団 長	森田 耕一
副 団 長	川上 博史
副 団 長	山本 浩辰
第一分団長	中平 孝一
第二分団長	中岡 紳二
第三分団長	西村 信明
第四分団長	高橋 正知
第五分団長	沖田 謙三
消防主任	川上 聡

梶原町女性消防隊

隊 長	西村 恵子
副 隊 長	川上まゆみ
書 記	吉田 敬子
会 計	西村麻理子

謹んで新年のお慶びを申し上げます

旧年中は組合事業推進につきまして

ご支援ご協力を賜りましたことに、深く感謝を申し上げます。

令和七年 元旦

梶原町森林組合 代表理事組合長 森山 真二



この1年を振り返りますと、気候変動の著しい変化もさることながら、原木や製品市況の下落が顕著に売上や事業量に反映した1年でありました。あわせて森林組合を含めて林業事業体間での人の移動により、経営においても大きな影響を受けました。とりわけ森林組合職員の中でも定年退職を含めて7名減少しましたが、新たに9名が林業の担い手となり、町の協力隊を含めて、徐々に山の現場で働く担い手が増加する状況となりました。町全体での林業就労人口が増加することにより、木材の生産量が増加し、そこに新たな雇用が生まれ、さらには市場の新規開拓が求められることによってニーズに合った販売量の確保や安定的な事業展開が期待されます。こういったことから持続可能な事業計画のもと、経営の改善にも努めているところです。

また、一昨年から施行されていますインボイス制度の取扱につきましては、これまでは組合が全額税負担を行ってききましたが、本年1月より免税事業者の方にもご理解をいただき、控除差額分相当の税負担をいただき、双方で消費税を負担していく対応いたします。

さて、令和6年度の組合事業につきましては、日本経済がデフレから完全に脱却をする中で、賃金の上昇や物価高に伴うインフラ経費の高止まり状況が続く、その一方で販売市場は価格の低迷が続く不調な一年でありました。しかし原木生産においては一定の安定供給ができ、ペレット工場への原材料供給も町内外の個人や素材生産事業者等の協力により、未利用材の出材が順調に推移し原材料を確保することができました。

また加工事業での「顔の見える家づくり」につきましては、インフレによる金利の回復や人件費・電気燃料等の製材コストの増加に伴い、コ

ストが販売価格を上回る状況にもなり、これまでの安定的な県内外への販売取引が大幅に減少しました。

今後はさらなる自然環境に優しい森林整備の継続や持続可能な林業経営を目指した多角的な事業の導入、そしてこれまでのFSCブランドによる梶原産材の販路拡大に努めてまいります。

令和7年度においても、町行政との連携を図り、広く社会に理解かつ信頼され求められる森林組合として、伐って・使って・植えて・育てる循環事業として森林を管理し、意欲と能力のある経営事業体としての責務を果たし、ゆすはらの森林づくりの一端を担っていく所存であります。

そして、いよいよスタートをしました脱炭素先行地域推進事業による木質バイオマス発電事業の取組にもこれまで以上に関わってまいります。本年度も、引き続き厳しい状況が予想されますが、役職員一致結束して事業を推進してまいりますので、組合員を始め関係機関皆様のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに皆様のご健康とご多幸をお祈りして新年のご挨拶といたします。

梶原町森林組合

代表理事組合長

理 事

代表 監事
監 事

森山 真二
上田 和弘
久岡 國雄
岩本 直也
中越 雅哉
下村 尚希
片岡 幸作
山本 浩辰
中平 俊一
外職員一同



新年おめでとうございます

本年が皆様にとりまして、輝かしい一年でありますようお祈り申し上げます。

令和七年 元旦

梶原町商工会 会長 長山 和幸



皆様方には日頃より、梶原町商工会並びに梶原町商工振興協同組合の活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

我が国経済は緩やかな回復基調にあるものの、全企業の99・7%を占める中小企業・小規模事業者においては深刻化する人手不足や高齢化等の社会構造の変化、エネルギー価格・物価の高騰や最低賃金の引き上げ等の経営環境の変化が急激に進むなかデジタル化など、対応すべき課題は山積みとなっています。

加えて、全国各地で頻発している大規模な自然災害は中小企業・小規模事業者の経営基盤だけでなく、地域住民の生活環境にも大きな打撃を与え地域コミュニティ存続の危機を招きかねない大きな脅威となっています。

この事は事業者の経営を圧迫し、事業継続そのものが困難になるケースが増加しています。

本町も少子高齢化等、同様であり

そのような中、商工会は地域に密着した唯一無二の総合経済団体として、活力のある地域経済の発展を目指す小規模事業者への伴走型支援による持続的発展と、各種イベントや福祉の増進に資する事業を実施することにより、地域社会の振興発展と活性化に積極的に取り組んでまいりました。

また、事業者はそれぞれの事業を営むだけでなく、それぞれの地域において防災・防犯・子育て・介護・地域コミュニティの担い手として活動をしており、住民生活の向上及び交流の促進に寄与すると共に、地域の持続発展における中心的な役割を担っています。

様々な課題が山積みしていますが、事業者のため、本町のためにも未来につながる地域経済社会の実現のために邁進してまいります。特に本年は、行政はもとより町内、各種関係機関との関係強化を図り、お互いを理解しそれぞれの組織が地域発展のために何を担うのか、一緒に何が出

来るのかを検討してまいります。又、災害とは何か、発災後に状況を把握し、何が出来たかを勉強する年にしたいと考えています。

本町に来ていただく観光客、昨年も多くの皆様においでいただきました。特筆すべきは外国人のお客様で、毎日のように歩いている姿を見掛けました。現状で、どのような「おもてなし」が出来るのか、地域にお金をどのように落としもらうか、今対応できる事に取り組みます。

現在、梶原町商工振興協同組合では、様々な事業を受託しています。特に雲の上のホテルがない中で、温泉・プール・市場・マルシェの経営については、そこで働く人の環境整備も必要であり、人がいてこそ事業が成り立つということをもう一度考えて、持続可能な経営ができるよう取り組んでまいります。

商工会は「会員あつての商工会」であり、その基本理念を今一度中心に、商売人が働ける環境づくりに行政と共にしっかりと取り組み、本町が希望が持てる町になるよう役職員一同、全力を挙げてまいります。

ただ、商工会だけで出来ることは限界がございます。どうか地域の皆

様を始め、多くの人々のご指導・ご理解・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

幸せいつばいの年になりますように。

梶原町商工会

会長 長山 和幸
副会長 山本 浩辰

理事 川上 周一

下元 正八

西川 陽子

近藤 律子

長山 亀一郎

中山 博行

安井 謙二

中越 貞幸

上川 健一

中越 哲臣

アウンボイガルト陽平

戸梶 匠美

中村 俊夫

千光寺 俊和

他職員一同

監事

〃

〃

謹んで 新春の お慶びを 申し上げます 各種団体・機関等 ※順不同									
梶原町区長会 会長（四万川区） 空岡 則明 副会長（松原区） 松山 榮喜 区長（越知面区） 上田 末喜 （西 区） 中岡 廣年 （東 区） 西村 茂則 （初瀬区） 氏原 昇佐									
梶原町農業委員会 会長 中平 紀善 会長職務代理 上田 和弘 委員 谷川 恵美 中岡 勝寿 押川 収一									
農地利用最適化 推進委員 高橋 亀一郎 岡林 健市 久岡 勝也 中平 厚志 川上									
梶原町民生委員・児童委員協議会 会長 西村 正義 副会長 山口 眞知子 監事 武正 眞智子 川上 寿久 高橋 正知									
運営委員 久岡 健市 片岡 志保 黒瀬 多津子 白石 さかえ 宮岡 恵 家森 裕二 西村 斗代美 村田 貴代子 片岡 志保 田邊 みどり									
主任児童委員 久岡 健市 片岡 志保 黒瀬 多津子 白石 さかえ 宮岡 恵 家森 裕二 西村 斗代美 村田 貴代子 片岡 志保 田邊 みどり									
梶原町選挙管理委員会 委員長 中岡 倫 委員長職務代理 中越 信也 委員 中平 則一 大崎 和江									
高幡消防組合津野山分署 分署長 森野 義博 副分署長 横田 圭佑 坂本 雅文 外消防職員一同									
梶原町交通安全町民会議 会長 吉田 尚人 副会長 土釜 清 理事 長谷部 悟 山中 照亞 岡田 量 中東 一夫 西森 峰雄 伊藤 祐博 田所 祐人 上川 渉 中越 靖 河野 純雄 矢野 敬明									
交通安全指導員 中越 浩一 二宮 健志 山本 憲男									
社会福祉法人カリスト会 理事長 熊岡 健 理事 空岡 則明 岡田 量 岩崎 悦子 掛橋 健一郎 川上 博明 西村 建雄 下村 昌彦									
梶原町魚族保護会 会長 氏原 昇佐 副会長 山中 照亞 竹倉 茂一 岡村 聖司 市川 辰壽 木原 正利 石川 清利 上川 雄康 岡林 勝 宮本 幸藏 松山 虎光 吉村 光義 藤原 光伸 來米 豊史 川上 博明									
梶原町人権擁護委員 代表委員 中越 靖 委員 吉富 文 中越 あかね									
梶原町保護司会 委員長 志手 功 市川 吉朗 松山 榮喜 氏原 昇佐 下元 秀俊 森田 呂弥 高橋 正知									
梶原町戦没者遺族会 会長 中越 計清 副会長 下元 秀俊 監事 西岡 一雄 川上 寿久									
梶原町身体障害者連盟 会長 宮本 友和									
梶原町手をつなぐ親の会 会長 高橋 正知									
健康文化の里づくり推進員 14期生会長 西村 信明									
梶原町廃棄物減量等推進員連絡協議会 会長 西川 陽子 副会長 上田 知子 推進員 木谷 恵 神明 祐子 永尾 祐子 西添 豊 山本 智也 西村 信明 家森 裕二 河野 純雄 久岡 松美 中越 郁子 西岡 利晃 若宮 康秀									
あゆみの会 会長 藤原 良男									
梶原町環境美化推進組合 組合長 川村 善雄 副組合長兼会計 田所 祐人 理事 岡村 聖司 神明 靖 若宮 康秀 志手 功 中越 大善 岡林 勝 石川 昇 友岡 良子 西岡 利晃 中越 誠									
青年部長 川上 光章 氏原 昇佐									

梶原町広報委員会

委員長 吉富 文
副委員長 神明 靖
委員 川上 博明
アウンボートルンツ
岩崎 悦子
西村 新一

図書館協議会

委員長 空岡 則明
副委員長 吉村 るみ子
委員 高橋 正知
瀬戸口 登恵
吉富 文
石川 真帆
足達 昇
中越 英二
下井 広和
糸井 将悟

梶原町読書活動推進委員会

委員長 加藤和嘉子
委員 宮内 大輔
高橋 正知
森山 聖子
前川 博樹
森野 咲
竹内あまね
田中 裕生
久米 秀人
下井 広和
樋口 浩代

社会教育委員・公民館運営審議会

委員長 空岡 則明
副委員長 大村 太郎

委員

西川 慶男
来米 豊史
長山 和幸
中越 英二
志手 功
大町 祐希
西村 正義
山口 眞知子
宮内 大輔
下井 広和

梶原町文化財審議会

会長 西村 信明
副会長 神明 靖
委員 川上 寿久
若宮 孝章
正岡 昭夫
松山 榮喜
中越 英二

梶原学園校長

梶原高等学校校長

梶原町津野山神楽保存会

会長 吉田 尚人
副会長 掛橋 雅彦
氏原 昇佐
中越 計清
前田 稔
矢野 富夫
西村 新一
矢野 準也
川上 寿久
中越 和仁

顧問

事務局 中越 和仁

梶原町体育会

会長 氏原 哲哉

梶原町スポーツ推進委員

委員長 西村 俊二
副委員長 氏原 哲哉
委員 宮本 友和
田尾 欣三
森野 健作
久岡 政文
下村 秀仁

梶原町青少年健全育成町民会議

会長 志手 功
副会長 矢野 準也

梶原町青少年育成センター

所長 花田 多恵
専任指導員 志手 功

梶原町老人クラブ連合会

会長 志手 功
副会長 市川 辰壽
橋詰 春恵
久岡 智子
岩本 直也

梶原町婦人会

会長 山口眞知子
副会長 中越 郁子
上田 知子
中山 昭子

固定資産評価審査委員会

川上 寿久
中平 俊一
西村 壽勝

梶原町連合青年団

団長 大町 祐希
副団長 高橋 元氣
中越 早紀

梶原町文化協会

会長 大村 太郎
副会長 山本 智也
糸井 将悟
加藤和嘉子
伊藤 一博
中越 光恵

梶原ゲートボール連合会

会長 岩本 直也
副会長 志手 功
中岡 照美

一般社団法人津野山畜産公社

センター長兼 牧場長 西森 勘介

一般社団法人ゆすはら雲の上観光協会

会長 吉田 尚人
副会長 長山 和幸
上田 末喜
空岡 則明
西村 義幸
下元 廣幸
上田 知子
森山 真二
矢野 豪佑

監事

中越 英二

高知県高幡食品衛生協会梶原分会

分会長 新谷 章男

よつば会

会長 中越 緑

梶原町エプロン会 (食生活改善推進協議会)

会長 戸梶 圧美

げらげら家族会

世話人 掛橋 培子

梶原町精神障害者家族会

会長 長山久美子

NPO法人 梶原竹ぼうぎの会

理事長 中越 計清

シルバー人材センター

会長 西森 峰雄

梶原町社会福祉協議会

会長 上川 雄康
副会長 西村 正義
理事 中越 平
監事 吉富 文
中越 佐美
樋口 益也
高橋 正知
下村 昌彦



在宅生活おうえん事業補助金について

梶原町では、在宅で暮らしている高齢者や障害児（者）の生活を応援し、要介護状態への進行防止や自立生活の継続助長を図ることを目的として、補助を行っています。

①住宅改修…材料費の90%を助成

≪限度額 63,000円≫

※材料費のみが補助対象ですの
で、工賃等は含みません。

②福祉用具…90%助成

≪限度額 27,000円≫

▼対象者

町内在住の65歳以上の高齢者及び障害児（者）

ただし、要介護・要支援認定を受けている方については、介護保険サービスの住宅改修及び福祉用具購入を優先し、障害児（者）については、障害福祉サービスが優先されます。

▼補助内容

①と②それぞれ利用できます。いずれも対象者1人につき、生涯

にわたって、限度額まで補助金を交付します。

※1回の交付で限度額まで補助金を使い切らなかった場合は、2回目以降も残額を限度に交付申請が可能です。

※申請には、工事前・後の写真や、材料代等や購入用具の領収書が必要です。

住宅改修の例

■手すりの取付け

■段差解消

など



福祉用具の例

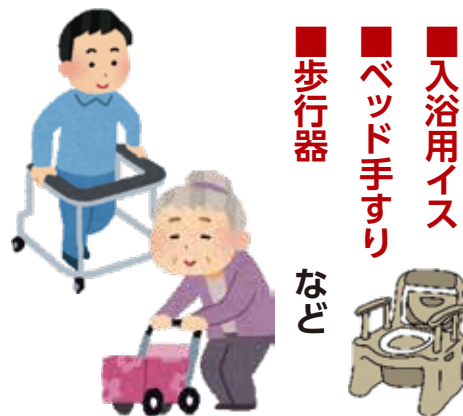
■ポータブルトイレ

■入浴用イス

■ベッド手すり

■歩行器

など



申請の希望をされる方は、住宅改修の工事内容や福祉用具の種類によっては補助対象外となる事があるため、工事及び購入前にご相談ください。

【問合せ先】保健福祉課福祉係

☎65・1170

在宅生活おうえんチケット・
思いやり家庭支援金について

梶原町では、在宅で介護をされているご家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図り、在宅での生活環境を整えるところに、被介護者の在宅生活の継続と福祉の向上を図ることを目的とする支援を行っています。

▼対象者

梶原町に住所を有し、以下のいずれかに該当する方を在宅で介護されている方

●要介護3以上の方

（要介護2の方でも認知症の症状が重い方で対象となる場合があります。）

●障害支援区分4以上の方

▼補助内容

①在宅生活おうえんチケット

月に5日分まで、サービス（デイサービス・ショートステイ）の利用者負担分を助成します。

②思いやり家庭支援金

月額1万円を支給します。

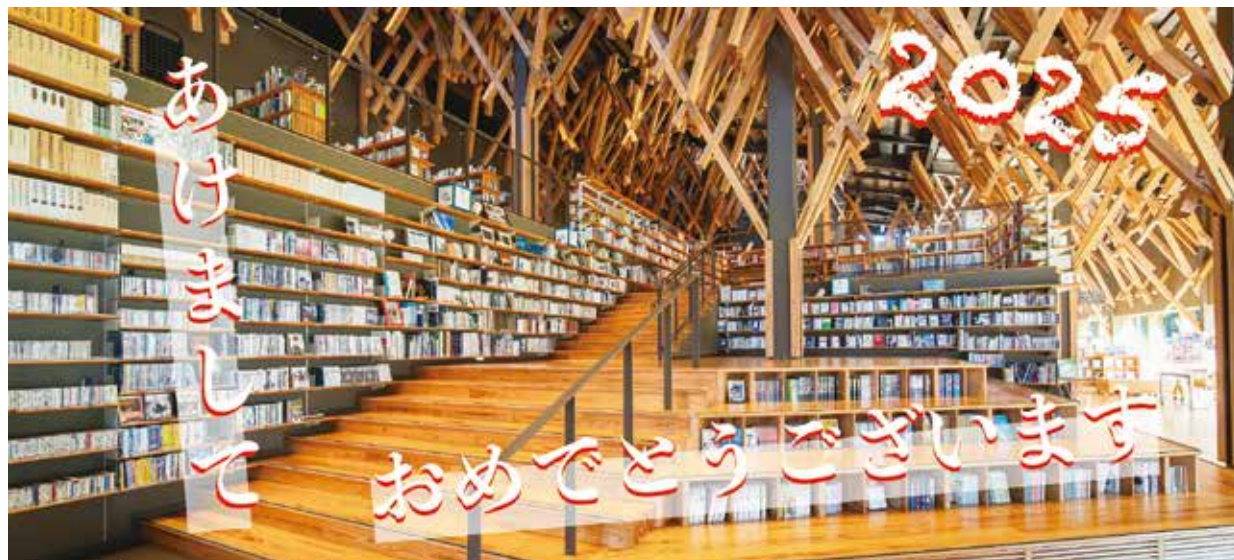
※所得制限があります。

【問合せ先】保健福祉課介護保険係

☎65・1170

雲の上の図書館だより

YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL ☎0889-65-1900



10万人以上の来館者で賑わった昨年。年度当初に掲げた「町内外を問わず、幅広い世代間の交流を図る」という目標にご賛同いただいた町民の皆さまによる芝生広場でのフリーマーケット開催や秋まつりの出し物のご協力など、出会いの場としての図書館の意義を確認できた年でした。本年は図書館サービスの充実はもちろん、新規開設したInstagramを通して図書館の魅力を発信したり、リニューアルしたボルダリングをより多くの方に体験していただけるよう工夫を重ねます。本年も町民の皆さまにとって幸多き素晴らしい年であることを祈念致しますとともに、町民の皆さまの日常にいつも寄り添える図書館としてお力になれますよう、スタッフ一同精一杯努めてまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

今年の干支を調べてみよう

『日本ヘビ類大全』

著：田原義太慶ほか

日本に分布するヘビ類全43種＋亜種4種を網羅した日本のヘビを知るための1冊。最近の研究成果を反映した開設に加え、各種を見分けるための標本写真と、貴重な生態活動を捉えた写真資料を収録。



読書でひろがる新しい世界

『齋藤孝先生が選ぶ高校生からの読書大全』

著：齋藤孝

たくさん本を読むことが、より豊かで充実した人生への扉を開く。歴史、文学、政治哲学、経済、人生論、思想、日本文化など、幅広いジャンルから知識と教養に溢れた人生を歩むための180冊を紹介する。



ご紹介した作品が貸出中の際は、ご予約を承ります。お気軽に図書館カウンターまでお問い合わせください。

蔵書点検期間

2月の休館日
3～7、12、18、25、28

季節の短歌

合格点 もらえるかしらと 語りかけ
母に供える おせち料理を / 石原和子



明けまして

おめでとうございます

本年も宜しく

お願いいたします

新しい年になりました。2024年4月～12月の行事を振り返りながら、子ども達の頑張りを見ていきたいと思っています。

道徳参観日

ラグビー元日本代表でワールドカップ2大会出場の「ホラニ龍コリニアシ氏」を講師に招いて、5年生～9年生の児童・生徒、保護者等対象に講演を行いました。午前中は、1～4年生と体を動かし



て交流したり、1年生と一緒に弁当を食べ、全校児童・生徒が交流でき、とても思い出に残る道徳参観日になりました。



修学旅行

親元を離れ、学校では決して学ぶことができない貴重な経験や見聞を広めることができました。この体験を活かして大きく成長している6年生と9年生です。



運動会

新学期が始まって2週間余りと練習期間の短かったことや、台風による2日間の臨時休校もあり十分な練習ができないうち、どの学年もがんばって練習した成果を発揮して、見応えのある運動会になったと思います。

当日は天気が心配な状況でしたが、止む無く、いくつかの競技をカットして早目の進行に決めました。おかげさまで、本格的な雨の降る前に無事終了することができました。天気が心配で空を何度も見上げていたのですが、あの天気の中、太陽の光が差し込むまぶしい時間もありました。「雲外蒼天く青空の下で輝く笑顔！」のテーマのもとで頑張っていた子ども達への褒美だったのではないのでしょうか。

ウェルカムコンサート

中学生が、①海外研修報告②PC・英語部発表③9年生総合学習発表④合唱コンクール⑤音楽部演奏の発表をしました。日頃の練習の成果を発揮した、素晴らしい発表会になりました。ここにあげられない行事も沢山ありました。日常の授業に加え、このような行事を通して、子ども達は日々成長しています。

『SHOW TIME! ～挑戦にける想い』



2025年も椿原学園の児童・生徒の素晴らしい成長を、学園教職員全員で見守っていききたいと思います。よろしくお願いいたします。

椿原学園ホームページ





栲原こども園だより



新年あけまして
おめでとうござい
ます

本年もどうぞ

よろしく願います



チューリップの球根を
植えたよ

ぞう組と栲原学園の6年生
とで、栲原学園の花壇に
チューリップの球根を植えま
した。



今から、この花壇に
球根を植えるよ

ぞう組が1年生になったと
き、入学式で手をひいてくれ
る6年生(4月からは7年生)と
ペアになりましたが、始め
は互いに緊張している様子
が感じられました。しかし、自
己紹介をするうちに緊張がほ
ぐれたようで、楽しそうに会
話をしている姿が見られまし
た。その後、一緒に穴を掘り、

チューリップの球根を植えま
した。

ぞう組の園生活も残り3か
月ほどとなりました。友達と
遊びや生活を進める楽しさや
充実感を味わいながら、1年生
になることへ期待をもって過
してほしいと思っています。

みんなが植えた球根から芽
が出て、かわいいチューリッ
プが咲きますように。



11月の乳児組の様子

ひよこ組は、まだまだ手に
した物は何でも口に入れる時
期ですが、保育者は様々なも
のに触れて遊べるようにと考
え、絵の具を点々とおいた紙

を透明のビニール袋に入れて
用意しました。ひよこ組も絵
の具を使った感触遊びを楽し
んでいました。



袋の上から触ったら
色が広がることに気
づき、こんなに塗り
広がっていました。

ひよこ組

“ん!?
なんだ、これ?”



“おもしろい”と分かった
ら、気が済むまで指や手のひ
らを動かして遊んでいました。



りす組



「(先生)何歳です
か?」とマイクを向
けて聞いてくるこ
ともあります。



うさぎ組



木の枝や
落ち葉も
さしています

りす組は、おしゃべりも盛
んになり、知っている歌を口
ずさんでいるこの頃。手作りの
マイクはお気に入りです。

うさぎ組は、天気の良い日
は園庭の固定遊具や砂場でも
遊んでいます。砂場に穴を
掘ったり、容器へ砂を入れた
り出したり、ある時は次から
次へと玩具を砂山に突きさし
てみたり、並べてみたり。ま
るで、クリスマスツリーのよ
うになっていました。

こども園ホームページ



秋の叙勲 瑞宝単光章 梶原町から2名受章

令和6年秋の叙勲において、梶原町から2名の受章がありました。



松山幸敏氏

梶原町松谷在住の松山氏は、昭和57年に陸上自衛官として自衛隊に入隊以来、平成29年7月に退職されるまでの35年余りの長きにわたり、香川県善通寺駐屯地や、岡山県三軒屋駐屯地、京都府大久保駐屯地などで、重機オペレーターや事務職として真摯に自衛隊任務にあたられ、自衛隊の発展にご尽力されました。

平成4年9月には国際連合平和維持活動（PKO）の一環として第一次カンボジア派遣隊の一員となり、



ルドーザーオペレーターとして現地での道路建設に貢献されました。また、岡山地方協力本部では援護業務に従事され、退職自衛官に親身に寄り添い、「礼を尽くして送り出す」という崇高な信念のもと、再就職支援にご尽力されました。その後、先任上級曹長や総務幹部として指導力を発揮され、その活躍や功績が評価されました。

川上源伸氏

梶原消防団元・第5分団副分団長の川上氏は昭和54年1月に梶原消防団団員を拝命以来、令和3年4月に退団するまでの42年余りの長きにわたり、消防使命の重要性を深く認識し、防火防災の任に当たり、被害軽減に力を発揮されました。

その間、梶原消防団伝統の「消すよりも火事を出すな」を受け継ぎ、火災予防運動の啓発広報活動や水利用及び機械器具点検を行うなど、団員及び住民の防火意識の高揚に努めました。

また有事に備えて団員の教育訓練の重要性を認識し、機械器具操作の習熟や団員資質強化を図るため、常日頃からの訓練を率先するなど、梶原消防団の発展に寄与された功績は多大で

あり他の模範となりました。今回の受章は、こうした長年の梶原消防団第5分団幹部として豊富な経験と卓越した職見、指導力、行動力をもって町民の方々の生命財産を守る消防精神の向上に貢献された功績が評価されたものです。



瑞宝単光章の受章まことにおめでとうございます。今後におかれましても、ますますのご活躍を期待しております。

広報委員のつぶやき

北陸地方を襲った能登半島地震から一年が経ちました。突然テレビから鳴り響いたけたたましいアラート音。まさか元日にと体が固まりました。久々に家族が揃ったお茶の間。初詣で皆の健康と平和を祈った人々。そんな祈りを打ち砕くかのような巨大地震の発生に、いくらなんでも今起こらなくてもいいじゃないかと、涙を堪えることができませんでした。

災害は時を選びません。4月には日向灘の地震により町内でも落石被害がありました。8月には初めての南海トラフ地震臨時情報、9月には再び能登半島を襲った豪雨災害。

土佐の偉人、寺田寅彦の残した「天災は忘れられたる頃来る」という警句も、現代では「天災は忘れる間もなく襲い来る」という気がしています。年の初め、この一年の安寧を祈りつつ備えもまたしかりとしなければなりません。地震に限れば、被災地輪島では住民の高齢化が住宅耐震の取り組みの足枷になっていたようです。年齢からくる諦めにも似た気持ちになるのも分からないではありません。

大地震は必ず来ます。復旧復興には災害が起こった時、さらにはその後の対処が重要であり、そのためにも悲しみにつながるようなことは少しでも減らしておかなければなりません。正しく、「備えあれば憂いなし」です。日ごろから家族や地域で関心を寄せあいましょう。

文芸

柚子の木俳句会

霧の山りんどう数多閉じしまま

西村由利子

月冴ゆや車窓の曇り漏れる赤

西森 誠子

富士に雪景色一変東海道

中平 忠雄

手に取りて寄りそい土鈴巳の年に

中越 郁子

六角の雪片おなじ片はなし

渡辺 瑞枝

黄落を掃きてパートの仕事果つ

吉田 敬子

それぞれの生を噛みしめ師走かな

中越 昌一

今朝抜いた間引き大根暮れの市

広瀬 卓雄

「それぞれの生を噛みしめ師走かな」
年を重ねる毎に、一年は非情のように短く感じられます。いろいろなあったようで平穏であったような。それぞれに年を終えたことに感謝です。さて新年は？

杉の子俳句会

神おはす字神在居初明り

久岡 智子

熱き火やめらめらたぎる鍛冶始

影浦 鉄心

脱藩の志士の群像初明かり

掛橋 初子

静寂のダム湖満水冬紅葉

下元 廣幸

拍子木に園児ら叫ぶ火の用心

西村 蓉子

父となり塩声混じり夜相撲

石丸 寛治

廃屋もあまねく覗く冬の月

川田 早苗

冬晴やにつこり顔の六地藏

内野 純子

街路樹にイルミネーション山眠る

西村 幸枝

新高梨もらいものです四分の一

大崎みなと

モマの棲む熊野神社に初詣

明神伊佐子

宮野々は先祖の在所冬苺

氏原 陽子

「神おはす字神在居初明り」
史談会の先輩方が枥原各地の字を丹念に調べて史談誌に掲載されています。神の山・神在居・山城など珍しい地名が各地に残されています。それぞれの呼び名には長い歴史の中で語り継がれてきた謂れがあるのでしょうか。

2月の行事予定

8日(土) 大越粗大ゴミ受入日・環境整備デイ
枥原学園学習発表会(小学校)
9日(日) 枥原消防団・女性消防隊出初式

17日(月) 所得申告受付開始
18日(火) 人権相談・行政相談(10:00~15:00)
20日(木) 枥原町交通安全の日

2月の保健福祉課行事予定

3日(月) げらげら家族会
5日(水) 松原サテライトデイサービス
6日(木) 四万川宅老所
7日(金) 初瀬いきいきふれあい広場
12日(水) 愛育相談
13日(木) 東区宅老「えくぼ」

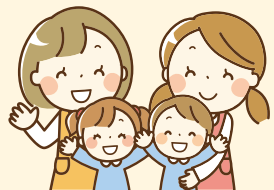
13日(木) 越知面デイサービス友の会
14日(金) 西区いきいきふれあい広場(下西の川)
20日(木) 四万川宅老所
21日(金) 東区いきいきふれあい広場
22日(土) 四万川いきいき交流会 & 四万川健康の集い

毎週月曜日 育児サークル(図書館内カンガルーのおなか)午前10時~
※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お待ちしております。

月曜日~金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)
※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。
(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)

川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日)…… 17日(月)、18日(火)

※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター ☎65-1170 までお願いします。



※行事予定は変更となる可能性がありますのでご了承ください。

1111年記念セレモニー開催

昨年11月11日、晴天に恵まれたこの日、総合庁舎前駐車場で1111年記念セレモニーを開催しました。これは、梶原町が津野経高公により開かれてから本年度1111年となる記念の年を町民の皆様と共に祝うものでした。

梶原学園の児童・生徒、梶原こども園の園児をはじめ町民の皆様に参加していただきました。町長と議長の挨拶の後、総合庁舎前の大きな風船の前に、町長、議長、区長、会長、梶原こども園園児代表、梶原小学校児童代表、梶原中学校生徒会長の6名が並び、カウントダウンを始めました。自然にかえるエコ風船を使用し、大きな風船に入った小さな風船666個と、会場にいる方々が手に持っている445個の合わせて1111個の風船が会場に並びました。

そして、この記念セレモニーでのこだわりとなる数字の「1」が並び、11月11日11時11分11秒、大きな風船6個が割れるパンツという音とともに、大きな風船から飛び出した小さな風船と、参加者の色とりどりの風船が皆さん



の思いを乗せ、空高く舞い上がっていきセレモニーは終了しました。

セレモニー終了後、梶原こども園の園児、梶原学園の児童・生徒の方々に、記念絵馬を渡ししました。これは、先人たちの決断と実行を振り返り、これまでつないできた歴史・文化に感謝するとともに、今後さらに発展していく、梶原町への期待や願いを絵馬に込めていただこうと作成した「1111年記念絵馬」です。町内各戸にも配布し、年内に総合庁舎前の

絵馬掛所に掛けにきていただきました。



記念絵馬に書かれた梶原町への期待や願いに込められるよう、今後の行政活動に取り組んでまいります。

総務課

「広報ゆすはら」の表紙写真を募集しています。

応募方法等の詳細は役場総務課(☎65-1111)までお問合せください。

梶原町のいろいろなサイトをご紹介します

ゆすはら散歩

奥四万十時間
Instagram



ゆすはらキャンプ場
Instagram



ゆすはら雲の上観光協会
Instagram



四国カルスト広域連携推進協議会
Instagram



ライダーズイン雲の上
Instagram



梶原町公式ホームページ
<http://town.yusuhara.kochi.jp/>



わが町の人びと

世帯数 1,694(11月末)

人口 3,093(11月末)

